

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2014-189040(P2014-189040A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-63844(P2013-63844)

【国際特許分類】

B 6 1 B 1/02 (2006.01)

E 0 5 F 15/632 (2015.01)

【F I】

B 6 1 B 1/02

E 0 5 F 15/14

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月23日(2015.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水平方向に移動可能な可動扉と、

前記可動扉を収納する戸袋と、

前記可動扉に一端が係止されたチェーンと、

前記チェーンを介して前記可動扉を移動させる駆動部と、

前記駆動部と連動して回転する前記チェーンが掛けられたスプロケットと、

を備えた可動扉装置であって、

前記チェーンは、

第1のローラーと当該第1のローラーに隣り合う第2のローラーとを連結する第1の内側連結板と、

前記第2のローラーと当該第2のローラーに前記第1のローラーとは異なる側で隣り合う第3のローラーとを連結する第1の外側連結板と、

前記第3のローラーと当該第3のローラーに前記第2のローラーとは異なる側で隣り合う第4のローラーとを連結する第2の内側連結板と、

を有し、

前記第1の内側連結板と前記第2の内側連結板は互いに当接しながら移動し、前記スプロケットに沿って回動することを特徴とする可動扉装置。

【請求項2】

水平方向に移動可能な可動扉と、

前記可動扉を収納する戸袋と、

前記可動扉に一端が係止されたチェーンと、

前記チェーンを介して前記可動扉を移動させる駆動部と、

前記駆動部と連動して回転する前記チェーンが掛けられたスプロケットと、

を備えた可動扉装置であって、

前記チェーンは、

ローラー、内側連結板、及び外側連結板を結合する結合ピンと、

前記結合ピンの両端部に両脇部が嵌め込まれた断面コ字形状のカバーと、

を有することを特徴とする可動扉装置。

【請求項 3】

前記可動扉は複数枚であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の可動扉装置。

【請求項 4】

前記チェーンは前記複数枚の可動扉のうち一番先端の可動扉に係止されていることを特徴とする請求項 3 に記載の可動扉装置。

【請求項 5】

前記チェーンを複数有し、当該複数のチェーンは前記複数枚の可動扉を異なる速度で駆動するように当該複数枚の可動扉に係止されていることを特徴とする請求項 3 に記載の可動扉装置。

【請求項 6】

前記可動扉は先端側の可動扉が戸袋側の可動扉の内部に収納される入れ子状に構成されていることを特徴とする請求項 3 から 5 のいずれか一項に記載の可動扉装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明に係る可動扉装置は、
水平方向に移動可能な可動扉と、
前記可動扉を収納する戸袋と、
前記可動扉に一端が係止されたチェーンと、
前記チェーンを介して前記可動扉を移動させる駆動部と、
前記駆動部と連動して回転する前記チェーンが掛けられたスプロケットと、
を備えた可動扉装置であって、
前記チェーンは、
第 1 のローラーと当該第 1 のローラーに隣り合う第 2 のローラーとを連結する第 1 の内側連結板と、
前記第 2 のローラーと当該第 2 のローラーに前記第 1 のローラーとは異なる側で隣り合う第 3 のローラーとを連結する第 1 の外側連結板と、
前記第 3 のローラーと当該第 3 のローラーに前記第 2 のローラーとは異なる側で隣り合う第 4 のローラーとを連結する第 2 の内側連結板と、
を有し、
前記第 1 の内側連結板と前記第 2 の内側連結板は互いに当接しながら移動し、前記スプロケットに沿って回動することを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明の可動扉装置によれば、可動扉に一端が係止されたチェーンは当接しながら移動し、スプロケットに沿って回動するものであるため、構造が簡単で重量も軽く複数の可動扉であっても開閉することが可能な駆動機構を有する可動扉装置を得ることができるのである。